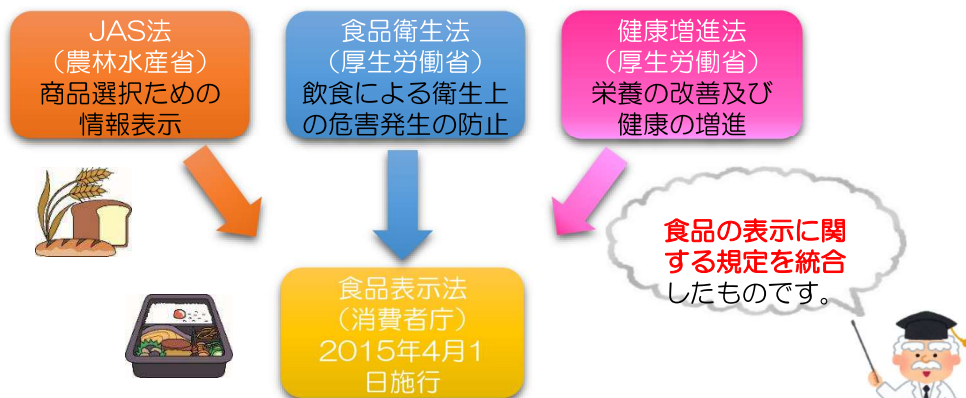


【食品表示】食品表示法とは・・・

《2020年、食品表示法が新食品表示制度に完全移行》

2015年4月より施行された新食品表示法は、5年の猶予期間を経て2020年4月には、新表示に完全移行になります。施行当初は、消費者庁へ問い合わせても曖昧な部分もあったが、新表示への内容もほぼ確定。



◆経過措置期間

**加工食品・添加物：5年** 2020年3月31日までに製造され、加工され、または輸入されるものは、現行表示が可能。

**生鮮食品：1年半** 2016年9月30日までに販売されるものは、現行表示が可能。

次回：改正される主な11項目の一覧について

【環境（プラスチック）】

《G20大阪サミット2019》

G20大阪サミットにて共有された、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向け、安倍総理は同サミットにおいて、日本は途上国の廃棄物管理に関する能力構築及びインフラ整備等を支援していく旨を表明した。そのため、日本政府は、(1) 廃棄物管理 (Management of Wastes), (2) 海洋ごみの回収 (Recovery), (3) イノベーション (Innovation), 及び(4) 能力強化 (Empowerment) に焦点を当てた、世界全体の実効的な海洋プラスチックごみ対策を後押しすべく、「マリーン (MARINE) ・イニシアティブ」を立ち上げる。

出典：外務省

〈地球環境問題における「大阪宣言」の要点〉

- 2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」への賛同をG20以外の国にも呼びかける。
- 温室効果ガス排出削減や世界気温上昇を抑える努力を目標としているパリ協定の署名国は完全な実行へのコミットメントを再確認。
- 米国のパリ協定脱退の再確認。米国は引き続きエネルギー関連のCO2排出を減らしクリーンな環境を提供し続ける為に先端技術の開発と配備の強いコミットメントを確認。
- 海洋資源の持続的な利用と海洋環境保全への対処の重要性を確認。
- 軽井沢でのG20エネルギー・環境大臣会合における成果を留意。

内容に関するお問い合わせは、弊社 担当者までお問い合わせください。

## 【改正 食品衛生法に伴う、HACCPの義務化】

《HACCPに沿った衛生管理》  
対象事業者の違いにより2種類の管理レベルがあります

### 【基準A】

①HACCPに基づく衛生管理  
→コーデックス7原則12手順  
(対象は大規模事業者・と畜場・食鳥処理場等)

### 【基準B】

②HACCPの考え方を取り入れた衛生管理  
→基本的には一般衛生管理を基準とする  
(対象は小規模事業所・多種類の食品を扱う事業者・小売販売業者等)



# HACCP



## 【食品衛生法の改正（7つのポイント）】

外食なども含めたすべての食品等事業者に、一般衛生管理に加え、HACCPに沿った衛生管理の実施が求められる。ただし、規模や業種等を考慮した一定の営業者については、取り扱う食品の特性等に応じた衛生管理とされる。2020年6月までに施行され、施行後1年間は経過措置がとられる。

- 1 広域におよぶ“食中毒”への対策を強化
- 2 原則すべての事業者“HACCPに沿った衛生管理”を制度化
- 3 特定の食品による“健康被害情報の届出”を義務化
- 4 “食品容器具・容器包装”にポジティブリスト制度導入
- 5 “営業届出制度”の創設と“営業許可制度”の見直し
- 6 食品の“リコール情報”は行政への報告を義務化
- 7 “輸出入”食品の安全証明の充実

出典：厚生労働省